

平成25年度農村振興・環境保全優良活動コンクール 知事賞受賞団体の紹介

NPO法人アイ・フィール・ファイン(富山市八尾町)

高齢化が進む桐谷集落の草刈、除雪などに協力し、地域との信頼の確保に努めている。アスリート達がスポーツを継続しながら、農業・地域活動ができる「アスリートファーム」を立ち上げ、集落や行政との橋渡しなど、定住者をサポートしている。

「震災復興支援親子リフレッシュ事業」により、福島の親子を受け入れ、自然の中で遊ぶ体験活動・宿泊を実施している。

また、耕作放棄地を復元し、「有機農法の里づくり」に取り組んでいる。



東日本大震災の被災地より親子宿泊受け入れ

くるみ

胡桃環境保全協議会(氷見市)

大規模地すべりにより、ほとんどの農家が離村し、現在、集落内の農家は3戸であるが、集落外からの通勤農業により営農、環境保全活動、イノシシ用電気柵の設置・管理に取り組んでいる。

市、病院、JA等との連携により、低タンパク米「春陽」を栽培し、高校生や糖尿病患者等の農作業体験を実施、集落の活性化に貢献している。

また、牛糞堆肥散布や減農薬による環境にやさしい農業に取り組んでいる。



高校生や糖尿病患者を対象とした農作業体験

ろんでん

論田地区中山間地事業推進協議会(氷見市)

協議会が支援する特産品加工グループが、地場産のもち米から草もちを年間通じて製造、直売所などへ販売し、集落内の働く場の確保につながり、活気が生まれている。

障害者施設の入居者や地域の園児と体験農業などを通じて交流を深めているほか、農道の新設、舗装整備や老朽化した排水路の整備に取り組んでいる。また、不作付地を解消し氷見市特産ハトムギの栽培を実施している。



地域の園児による収穫体験

おおたせいぶ

太田西部地区環境保全推進委員会(砺波市)

下流地区の洪水被害を防止するため、地区を挙げて集中豪雨時に一時的に水田に水を貯める「田んぼダム」に取り組んでおり、これにより、浸水被害が無くなった。

6月～9月の第1日曜日に全員参加で実施している草刈、地域の子供たちとの生き物調査、蛍の観察会等により環境保全の理解が深まった。また、花街道の整備や、大麦跡にひまわり、コスモスを栽培し、景観形成に努めている。

年6回委員会便りを発行し、環境保全活動の周知に努めている。



「田んぼダム」の取組

みなみだに

南谷地区振興会・NPO法人山の店(小矢部市)

地区振興会とNPO法人が連携し、旧小学校・保育所を拠点とし地域ぐるみで交流活動を実施している。収穫祭にて、地区内外から約300人が訪れるほか、市内小学生を対象とし、リンゴ収穫や炭焼きなど里山体験を実施している。また、市内スポーツ少年団の合宿を受け入れ、地元農産物を提供している。

NPO法人が運営する直売所にて地元農産物、加工品の販売を実施し、県外の来客もあり、地域活性化に寄与している。



NPO法人が運営する直売所「山の店」

とが

利賀集落(広域協定)(南砺市利賀村)

高齢化、過疎化が進んでいることから、平成17年度に旧利賀村10集落全体を対象とする広域協定へ再編し、地域農業の核となる利賀村農業公社と地域住民が一体となって水路の管理等農地保全に取り組んでいる。

そばオーナー制度による都市農村交流を実施しているほか、標高が高い条件を活かし、食材加工会社などと連携し、高原野菜(キャベツ)の栽培に取り組んでいる。



そばオーナー農園にて都市住民との交流